

3. お達者プランの策定状況について

(3) 居所変更実態調査について



加賀市市民健康部介護福祉課

令和5年8月24日

居所変更実態調査

目的	第9期高齢者お達者プランの策定に向けて、過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討することを目的とした調査
調査対象	加賀市内の 認知症対応型共同生活介護(12事業所) 介護老人福祉施設(地域密着型含む)(11事業所) 介護老人保健施設(5事業所) 介護医療院(2事業所) 住宅型有料老人ホーム(3事業所) サービス付き高齢者向け住宅(2事業所) 特定施設入居者生活介護(2事業所) 軽費老人ホーム(5事業所)
調査期間	7月18日～8月4日
調査内容	過去1年間で施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や理由等の調査

主な設問

<ul style="list-style-type: none">・事業所のサービス種別や、施設の概要(名称や定員数など)・現在の入所・入居者の要支援・要介護度の人数・医療処置(点滴の管理、中心静脈栄養、透析など)を受けている人数・過去1年間(R4.4.1～R5.3.31)に、<u>新規で入所・入居した人数と、その人たちの入所・入居する前の居場所別の人数</u>・過去1年間(R4.4.1～R5.3.31)に、<u>退去した人数と、その人たちの要介護度別の人数、退去先別の人数</u>・退去理由として多いものを、9つの項目から、上位3つまで選んでいただく<ol style="list-style-type: none">①必要な生活支援が発生・増大したから②必要な身体介護が発生・増大したから③認知症の症状が悪化したから④医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから⑤①～④以外の状態像が悪化したから⑥入所・入居者の状態等が改善したから⑦入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから⑧費用負担が重くなったから⑨その他
--